

目次

口絵

刊行のことば

凡例

三郷村 村長 西山 馥司
三郷村誌刊行会長

xix xvii

第一章 原始の三郷

第一節 三郷の埋蔵文化財

- 一 生活環境と遺跡・遺物…………… 3
- 1 現在の地形が形成されるまで…………… 3
- 2 地中に刻まれた人間の歴史…………… 3
- 3 時代の区分と特徴…………… 8
- 二 埋蔵文化財の調査と保護…………… 8
- 1 これまでの考古学的調査…………… 8
- 2 遺跡の保護と今後の展望…………… 8

第二節 旧石器時代の三郷

- 一 最初の人間を追い求めて…………… 11
- 1 私たちの直接の祖先誕生まで…………… 11
- 2 日本人の祖先と野尻湖人のくらし…………… 11
- 二 三郷の歴史の幕が開くまで…………… 14
- 1 松本平の旧石器時代…………… 14
- 2 東小倉遺跡出土の尖頭器…………… 14

第三節 縄文時代の三郷

- 一 一万年続いたくらしの舞台…………… 17
- 1 日本列島独自文化の発達…………… 17
- 2 三郷に住んだ最初の人々…………… 17
- 3 山麓さんろくに栄える縄文集落…………… 17
- 4 新たな生活の場を求めて…………… 17
- 二 縄文人のくらし…………… 26
- 1 ムラの成立と継続…………… 26
- 2 住まいと周辺環境…………… 26
- 3 食べ物と道具…………… 26
- 4 着物と装身具…………… 26
- 三 縄文人の精神生活…………… 26
- 1 生死と祈り…………… 26
- 2 人と物の交流…………… 26

第四節 弥生時代の三郷

- 一 新しい文化の展開…………… 41
- 1 大陸から三郷までの道…………… 41
- 2 農耕文化の定着・発展…………… 41
- 二 弥生人やよいじんのくらし…………… 45
- 1 見事な新旧折衷の生活…………… 45
- 2 ムラからクニへ…………… 45

第五節 古墳時代の三郷

- 一 国家の成立と古墳の造営…………… 49
- 1 巨大古墳と大王の時代…………… 49
- 2 松本平の古墳時代…………… 49
- 二 古墳時代の人々のくらし…………… 52
- 1 穂高古墳群を支えた人々…………… 52

第二章 古代・中世の三郷

第一節 古代の三郷

- 一 律令制下の信濃 57
- 1 信濃国府と律令支配 2 安曇郡の動向と三郷 57
- 二 律令制の解体と新たな開発 59
- 1 松本平における集落の大きな変化
- 2 低地への開発と三郷の古代
- 3 集落の変遷を通じた古代の安曇野
- 三 古代の人々の暮らし 66
- 1 重税のなかを生き抜く 2 土地開発と条理的地割

第二節 安曇郡の成立と三郷

- 一 古代の信濃 71
- 1 国・郡・里の制定 2 信濃の国名諸説 71
- 二 安曇郡の成立とムラ 72
- 1 安曇郡の成立 (1)安曇の名称 (2)安曇郡の規模
- 2 郷の推移と安曇郡四郡の位置 3 高家郷
- 4 八原郷 5 前科郷と村上郷
- 三 古幡牧(西牧) 81
- 1 古幡牧と西牧 2 西牧の範囲

第三節 荘園のころの三郷

- 一 荘園の成立と住吉荘 87
- 1 荘園の三類型 2 住吉荘の成立 87
- 3 開発・在地領主 (1)開発の端緒 (2)在地領主 (3)領家
- 4 領域
- 二 荘園の遺構としての社寺 98
- 1 住吉神社 2 龍峰寺 3 熊野神社
- 4 平福寺 5 長徳寺 6 泉光寺
- 三 荘園市場 105
- 1 七日市場 2 一日市場 3 六日市場

第四節 住吉荘の開発と三郷

- 一 耕地分布と水田開発 109
- 二 山麓の開発 112
- 1 北小倉 2 南小倉 112
- 三 黒沢川による原始開発 114
- 1 黒沢川による開発 2 長尾・二木の開発
- 3 楡・住吉の開発 4 及木西村の開発
- 5 西中萱の開発
- 四 長尾堰による開発 119
- 五 横沢堰による開発 122
- 六 庄野堰による開発 123
- 1 庄野堰の役割 2 庄野堰と集落

- 七 成相堰(真鳥羽堰)と下中萱 127
- 八 温堰による開発 127
- 1 温堰の梓川導水堰 2 荒堰(温堰)による開発
- 九 梓川揚堰の開発時期 131

第五節 武士の時代と三郷

- 一 中世の安曇平 137
- 1 小笠原氏の入信 2 大文字一揆と大塔合戦 137
- 3 中央の動向と小笠原氏
- 二 二木氏の動向 142
- 1 初見 2 二木氏の遺構 (1)二木豊後屋敷
- (2)二木土佐屋敷 (3)草間肥前屋敷
- 三 武田氏の信濃進攻 146
- 1 「二木家記」が語る戦国時代

四 小笠原氏の安筑支配

- 1 府中回復 2 知行割 3 城下集住と兵農分離 157
- 五 城跡と館跡 160
- 1 長尾城 2 小倉城 3 中塔城
- 4 堀屋敷 (1)上総屋敷 (2)瑠璃光寺堀屋敷
- (3)及木の堀屋敷 (4)上中萱の堀屋敷 (5)下中萱の堀屋敷

(6) 一日市場の堀屋敷

第六節 三郷の主な社寺

- 一 中世からの神社 173
- 1 八幡宮 北小倉 2 白山神社 北小倉
- 3 吾妻屋社 南小倉 4 諏訪神社 南小倉
- 5 諏訪神社 上長尾 6 住吉神社 楡
- 7 諏訪神社(三柱神社) 二木 8 伍社宮 及木
- 9 熊野神社 中萱
- 二 近世以降の神社 180
- 1 津島社 野沢 2 諏訪神社 七日市場
- 3 神明社 一日市場 4 貞享義民社 中萱
- 5 玉鉦神社 室町
- 三 再興されなかつた寺院 183
- 1 三郷近世村の寺院 2 金峯山泉光寺 南小倉
- 3 満珠山龍峰寺 楡 4 真縁山生善寺 住吉上手村
- 5 戸隠山善福寺 住吉小住吉
- 6 修南山善導寺 一日市場
- 7 二木山長徳寺 一日市場 8 仏花山法因寺 中萱
- 四 再興された寺院の概況 187
- 1 一仏山淨心寺 北小倉 2 無量山瑠璃光寺 野沢
- 3 長尾山平福寺の観音堂
- 4 興国山真光寺 一日市場 5 見石山歓喜寺 中萱

第三章 水野期の三郷

第一節 水野氏入封前の松本領

- 一 近世初頭の安曇野
 - 二 石川氏の時代
 - 1 石川氏の入封
 - 2 天正郷帳
 - 3 筋郷制による村支配
 - 三 小笠原氏の時代
 - 1 小笠原氏の入封
 - 2 住吉村の成立
 - 四 前の戸田氏の時代
 - 1 戸田氏の入封
 - 2 組村制による郷村支配
 - 五 松平氏の時代
 - 六 堀田氏の時代
- コラム 水野氏前中仁科筋・長尾組政役人一覧

第二節 水野期の村支配

- 一 水野期成立の三郷近世村
 - 1 村成立の時期
 - 2 野沢村の分村
 - 3 七日市場・一日市場村の分村
 - 4 二つの中萱村・長尾村
- 二 村の政治

三 水野氏の統治

- 1 法度による統治
- 2 寛文九年の御法度
- 3 生類憐令と松本藩
- 4 領主の領内巡郷
- 四 長尾組の慶安検地
 - 1 慶安検地
 - 2 検地帳
- 五 慶安検地後の検地
 - 1 再検地村と結果
 - 2 検地なしの永引地
 - 3 検地帳寄せ一覧
- 六 水野期の宗門改
 - 1 宗門改の制度化
 - 2 松本藩の宗門改
 - 3 野沢村人別改帳
 - 4 宗門改の仕方

第三節 水野期の税制

- 一 本年貢
 - 1 年貢免状
 - 2 長尾組の年貢納め
- 二 諸税
 - 1 小物成・小役
 - 2 運上・冥加
- 三 課役
 - 1 軒役と鍵役
 - 2 成相新田宿の伝馬
 - 3 追鳥狩
 - 4 門松伐り届け
 - 5 小人と郷夫
- 四 国役
 - 1 茶壺道中など助郷
 - 2 国役金

第四節 水野期の開発

- 一 慶安検地前の開発
 - 1 水野期前の開発
 - 2 水野初期の開発状況
- 二 慶安検地後の開発
 - 1 開発状況の概観
 - 2 村の新切状況
- 三 開発と争論
 - 1 長尾東原の所屬争い
 - 2 中萱東原の原境裁許
 - 3 古法尊重と新堰争い

第五節 貞享(加助)騒動

- 一 飢饉と改革
 - 1 はじめに
 - 2 寛永の飢饉
 - 3 寛文の凶作と農民保護策
 - 4 延宝二、三年の凶作と飢饉
 - 5 延宝八、九年の凶作と飢饉
 - 6 その後の凶作飢饉
- 二 貞享(加助)騒動
 - 1 起こるべくして起こった騒動
 - 2 騒動の始まり
 - 3 五か条訴状の提出
 - 4 五か条の訴状を吟味する
 - 5 回答書
 - 6 収納の開始と嚴罰の御仕置令
 - 7 騒動の評価を問う
 - 8 各地で刻まれた義民伝承

第六節 水野期の諸事件

- 一 老中に駕籠訴した農民

第四章 戸田期の三郷

第一節 戸田氏の政治

- 一 戸田氏の統治理念
 - 1 戸田氏の再入封
 - 2 戸田氏の統治理念
 - 3 初代光慈と領民
- 二 戸田期の藩政改革
 - 1 志一つに安永の改革
 - 2 寛政の改革と作世話
 - 3 文化文政期の改革と産物役所
 - 4 天保の改革と儉約令
 - 5 安政の改革と小前惣代

第二節 戸田期の宗門改

- 一 宗門改帳の様式変更
 - 1 宗門・五人組合冊改帳
 - 2 一宗一冊改帳に
 - 3 宗門改時の提出文書
- 二 宗門改の準備

- 1 去来願提出 2 宗門改下帳の作成
- 3 長尾組の内改
- 三 宗門改の仕法
 - 1 出郷改から役所改へ 2 宗門出郷改
 - 3 宗門役所改
- コラム 安永五年（一七七六）の淨心寺中

- 1 戸田期の廻米 2 廻米の金納値段
- 三 年貢勘定帳と村役人の仕事
- コラム 松本城の堀浚い

第三節 戸田期の検地

- 一 二木村の再検地
 - 1 二木村の困窮 2 再検地の経過
 - 3 再検地の実施状況 4 再検地の結果
- 二 堂原西御林の検地
 - 1 堂原西御林新切 2 御林新開場検地
 - 三 天保三年慶安並み検地
 - 1 天保検地の必要性 2 天保検地の経過
 - 3 天保検地の結果
- コラム 野沢村庄屋日記

第五節 戸田期の藩と村の財政

- 一 藩の財政と御用金
- 二 村の財政（夫錢帳）
 - 1 松本領の村入用勘定帳 2 夫錢帳の一斉作成
 - 3 節約と格差是正を求めた夫錢掛り
 - 4 天保十年の夫錢帳の分析 5 夫錢額の移り変わり
 - 6 小物割にみる村役人の仕事ぶり

第六節 戸田期の騒動

- 一 文政の赤糞騒動（大町騒動）
 - 二 長尾組の村方出入
 - 1 出入と内済の裁判制度
 - 2 御林の盗木出入 (1) 日常化していた御林の盗木
 - (2) 盗木から始まった若き者石打ち事件
 - 3 村費を巡る村方出入
 - (1) 中萱村の社木・社地を巡る出入
 - (2) 七日市場村の社木売買出入
 - 4 祭礼と若者出入 (1) 新しい祭礼踊りの取り入れ (2) 文化六年野沢村の獅子櫓

第四節 戸田期の税制

- 一 定免制（法）の採用
 - 1 年貢徴収に定免制（法）導入
 - 2 定免の年季切り替え
- 二 金納制の拡大

第五章 近世の村人の暮らし

第一節 村と家

- 一 村々の人数
 - 1 三郷近世村の人口 2 人口増減の要因
 - 3 村の婚姻圏
- 二 家数と家族構成
 - 1 村々の家数 2 家族構成
 - 三 農家の住まい
 - 1 屋敷 2 民家の屋造り 3 本棟造と儉約令
 - 四 農家のもてなし
 - 1 婚礼のもてなし 2 祝儀・音信
 - 3 出郷役人の接待
 - 五 農民の衣生活

第三節 たんぼの水確保

- 一 用水堰と井掛り
 - 1 梓川左岸諸堰と井掛り 2 井掛りの役割
- 二 揚口と堰筋の確保
 - 1 中萱堰の揚口 2 温堰口の確保
 - 3 寛政・享和の荒堰大普請
 - 4 勘左衛門堰と拾ヶ堰 5 小室山の築堤
- 三 梓川の水融通と水争い
 - 1 梓川筋水融通の慣行 2 温堰内の水融通
 - 3 左岸井掛りの水争い 4 和田堰との水争い
- 四 上ノ原揚堰構想
 - 1 上ノ原揚堰の初発構想 2 余水による新堰開削
 - 3 小倉御林開発新堰構想

二 稲作

- 1 稲ごよみ 2 稲の作付け品種 3 刈敷と蓮華
- 4 石灰使用禁止 5 耕作と牛馬
- 三 畑作
 - 1 麦作り 2 綿と薄荷の栽培 3 諸作物の試作
- 四 畜産と養蚕
 - 1 牛馬飼育農家数 2 松本藩の毛付駒改
 - 3 長尾組の養蚕・蚕種

第二節 田畑の仕事

- 一 農家の田畑所有状況
 - 1 一軒当たりの耕地 2 小倉村の出作

第四節 山野の仕事

- 一 長尾組村々の入会 471
- 1 里村の林野 471
- 2 入会の林野 471
- 3 入会権の争い 471
- 4 入会山の利用 471
- 二 入会原の開発と分地 475
- 1 入会原が代官見立新田に 475
- 2 上ノ原の分地 475
- 3 神明宮南の森所属争い 475
- 三 小倉御林 480
- 1 小倉御林とその利用 480
- 2 御林成立の時期 480
- 3 入山規定の成立 480
- 四 諸木川下げと長尾組 487
- 1 三溝大籠牛木 487
- 2 川下げの積木・散木 487

コラム 松本領殿さまの小倉室山来遊―御用留帳より―

第五節 作間 稼

- 一 作間稼の状況 491
- 1 作間稼の勤め 491
- 2 幕末の作間稼 491
- 二 作間の店商 494
- 1 三郷にあった市場 494
- 2 水野期の商い 494
- 3 戸田期の商い 494
- 4 北国塩移入自由化 494
- 三 長尾組の物づくり 501
- 1 わら細工 501
- 2 小倉村の鍛冶炭 501
- 3 長尾組の足袋底織り 501
- 4 長尾組の水車稼 501

5 造り酒屋

- 四 作間の中馬稼 507
- 1 中馬の発達と争い 507
- 2 中馬稼の村と馬数 507
- 3 中馬の荷物 507
- 4 松本荷の争い 507
- 五 作間の職人稼 511
- 1 職人の免状や鑑札 511
- 2 幕末の諸職日当など 511

第六節 三郷の古道

- 一 三郷の古道図 513
- 1 山道・御林道 513
- 2 里村の道 513
- 3 三郷の千国道 513
- 二 「安筑画図」の千国道と飛驒道 519
- 1 「安筑画図」の千国道 519
- 2 松本からの飛驒道 519
- 三 飛州新道開削 523
- 1 飛州新道の構想 523
- 2 飛州新道の道筋 523
- 3 上高地まで開削 523
- 4 中尾峠越え新道開削 523
- 5 飛州新道道筋争い 523
- 6 飛州新道の閉鎖 523
- 四 長尾組の主要橋普請 533
- 1 村々の橋普請 533
- 2 主要橋の普請 533
- 3 橋普請入用金負担 533

第七節 戸田期の災害

- 一 凶作と飢饉 537
- 1 天明の飢饉 537
- 2 天保の飢饉 537

二 凶作と藩・村の対応

- 1 松本藩の困穀 546
- 2 四か組困穀蔵設置 546
- 3 組別困穀蔵設置 550
- 三 風水害の記録 550
- 1 黒沢・鳴沢の氾濫 550
- 2 梓川の出水 550
- 3 大風・大雪などの記録 550
- 四 三郷近世村の火災・地震の記録 557
- 1 三郷近世村の火災 557
- 2 長尾組辺の地震など 557
- 五 コレラ・疫病の流行 561
- 1 死の恐怖渡来 561
- 2 文久二年のコレラ流行 561
- 3 長尾組辺の疫病流行 561

第八節 村人の教育と文化

- 一 三郷の寺子屋 565
- 1 寺子屋以前の教育 565
- 2 三郷の寺子屋師匠 565
- 3 寺子屋の教育 565
- 二 心学の巡回道話 573
- 三 禁じられた芝居 574
- 四 句をたしなむ村人 576

第九節 村人の信仰

- 一 野仏への信仰 579
- 1 貞享義民供養塔の発見 579
- 2 村内の石仏や供養塔 579

1	東禪寺事件	2	台場警固と軍夫募集
3	水戸浪士軍の通過	4	長州戦争出兵
5	松本藩軍夫規定		

第二節 幕末助郷と長尾組

一	中山道助郷と安曇の村々	625
1	中山道助郷	625
2	中山道助郷訴訟	625
3	相次ぐ助郷	
二	和宮下向と長尾組	630
1	宿場の整備	630
2	長尾組中山道助郷村に	
3	村の警備と御用金	

第三節 村の御維新

一	木曾騒動の背景	635
1	幕末米価の高騰	635
2	相次ぐ世情不安	
3	木曾騒動の発生	
二	東征軍と長尾組	641
1	東征軍の入信	641
2	北越戦争と松本藩	
三	維新松本藩の改革	647
1	維新の制度変革	647
2	版籍奉還と藩政改革	
四	村の御維新	650
1	戊辰戦後の波乱	650
2	村人たちの要求	
3	村政改革着手	
4	百姓惣代選任	

五	廃仏毀釈と戸籍帳	656
1	松本藩の廃仏毀釈	656
2	松本藩最初の戸籍帳	

付表 一	長尾組歴代組手代・大庄屋	663
付表 二	三郷近世村歴代庄屋・組頭	664
付表 三	松本領幕立(冬立)初値段	673
付表 四	三郷村歴史年表	676

付 図 三郷村の近世古道・用水路図

執筆等分担	696
史料・資料提供者	697
参考史料・文献	698
三郷村誌編纂委員会名簿	701
三郷村誌刊行会名簿	703
三郷村誌編纂委員会事務局	706
あとがき	707

第一章 原始の三郷